



テープドライブの管理

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

テープドライブの管理	1
ONTAPテープドライブの管理について学ぶ	1
テープドライブ、メディアチェンジャー、およびテープドライブ操作を管理するための ONTAP コマンド	1
ONTAPテープバックアップに非認定テープドライブを使用する	3
ONTAPテープバックアップ用にテープドライブまたはメディアチェンジャーにテープ エイリアスを割り当てる	4
ONTAPテープバックアップ用のテープドライブまたはメディアチェンジャーへのテープ エイリアスを削除します	5
ONTAPテープ予約を有効または無効にする	5
テープライブラリ接続を確認するための ONTAP コマンド	6

テープドライブの管理

ONTAPテープドライブの管理について学ぶ

テープバックアップまたはリストア処理を実行する前に、テープライブラリの接続とテープドライブの情報を確認できます。未認定テープドライブを使用するには、そのドライブを認定テープドライブにエミュレートする必要があります。また、既存のエイリアスを確認するだけでなく、テープエイリアスを割り当てたり、削除したりすることもできます。

テープにデータをバックアップすると、データはテープファイルに格納されます。各テープファイルはファイルマークで区切られ、名前はありません。テープファイルはテープ上の位置で指定します。テープファイルへの書き込みには、テープデバイスを使用します。テープファイルを読み取るには、書き込み時と同じ圧縮形式のデバイスを指定する必要があります。

テープドライブ、メディアチェンジャー、およびテープドライブ操作を管理するためのONTAPコマンド

クラスタ内のテープドライブとメディアチェンジャーに関する情報の表示、テープドライブのオンライン化とオフライン化、テープドライブカートリッジ位置の変更、テープドライブエイリアス名の設定とクリア、テープドライブのリセットを行うコマンドがあります。また、テープドライブ統計情報の表示とリセットも可能です。

状況	使用するコマンド
テープドライブをオンラインにする	<code>storage tape online</code>
テープドライブまたはメディアチェンジャーのエイリアス名をクリアする	<code>storage tape alias clear</code>
テープドライブのテープトレース処理を有効または無効にします	<code>storage tape trace</code>
テープドライブのカートリッジ位置を変更する	<code>storage tape position</code>
テープドライブをリセットする	<code>storage tape reset</code>  このコマンドは、advanced権限レベルでのみ使用できます。
テープドライブまたはメディアチェンジャーのエイリアス名を設定する	<code>storage tape alias set</code>
テープドライブをオフラインにする	<code>storage tape offline</code>

状況	使用するコマンド
すべてのテープドライブとメディアチェンジャーに関する情報を表示する	<code>storage tape show</code>
クラスタに接続されているテープドライブに関する情報を表示します	<ul style="list-style-type: none"> • <code>storage tape show-tape-drive</code> • <code>system node hardware tape drive show</code>
クラスタに接続されているメディアチェンジャーに関する情報を表示します	<code>storage tape show-media-changer</code>
クラスタに接続されたテープドライブに関するエラー情報を表示します	<code>storage tape show-errors</code>
クラスタ内の各ノードに接続されているすべてのONTAP認定およびサポートされているテープドライブを表示します	<code>storage tape show-supported-status</code>
クラスタ内の各ノードに接続されているすべてのテープドライブとメディアチェンジャーのエイリアスを表示します。	<code>storage tape alias show</code>
テープドライブの統計情報の読み取り値をゼロにリセットする	<code>storage stats tape zero tape_name</code> このコマンドはノードシェルで使用する必要があります。
ONTAPでサポートされるテープドライブを表示	<code>storage show tape supported [-v]</code> このコマンドはノードシェルで使用する必要があります。`-v`オプションを使用すると、各テープドライブの詳細を表示できます。
テープデバイス統計情報を表示して、テープのパフォーマンスを理解し、使用パターンを確認する	<code>storage stats tape tape_name</code> このコマンドはノードシェルで使用する必要があります。

関連情報

- ["ストレージ テープ"](#)
- ["storage tape show"](#)
- ["storage tape show-supported-status"](#)
- ["storage tape show-tape-drive"](#)
- ["ストレージ テープ エイリアス クリア"](#)
- ["ストレージ テープ エイリアス セット"](#)

- ["storage tape エイリアスの表示"](#)
- ["ストレージ テープ トレース"](#)

ONTAPテープ バックアップに非認定テープ ドライブを使用する

未認定テープ ドライブで認定テープ ドライブをエミュレートできる場合は、ストレージ システムでその未認定テープ ドライブを使用できます。エミュレート後、未認定テープ ドライブは認定テープ ドライブとして扱われます。未認定テープ ドライブを使用するには、そのドライブで認定テープ ドライブのエミュレートが可能かどうかを最初に確認する必要があります。

タスク概要

未認定テープ ドライブはストレージ システムに接続されているドライブですが、ONTAPではサポートまたは認識されません。

手順

1. `storage tape show-supported-status` コマンドを使用して、ストレージ システムに接続されている非認定テープ ドライブを表示します。

次のコマンドは、ストレージ システムに接続されているテープ ドライブと、各テープ ドライブのサポートおよび認定ステータスを表示します。認定されていないテープ ドライブも表示されます。

`tape_drive_vendor_name` は、ストレージ システムに接続されているものの、ONTAPではサポートされていない認定されていないテープ ドライブです。

```
cluster1::> storage tape show-supported-status -node Node1
```

```
Node: Node1

Tape Drive                                Is Supported  Support Status
-----
"tape_drive_vendor_name"                 false        Nonqualified tape drive
Hewlett-Packard C1533A                    true         Qualified
Hewlett-Packard C1553A                    true         Qualified
Hewlett-Packard Ultrium 1                 true         Qualified
Sony SDX-300C                             true         Qualified
Sony SDX-500C                             true         Qualified
StorageTek T9840C                         true         Dynamically Qualified
StorageTek T9840D                         true         Dynamically Qualified
Tandberg LTO-2 HH                         true         Dynamically Qualified
```

2. 認定テープ ドライブをエミュレートします。

["NetAppのダウンロード：テープ デバイスの構成ファイル"](#)

関連情報

- [認定テープドライブとは](#)
- ["storage tape show-supported-status"](#)

ONTAPテープバックアップ用にテープドライブまたはメディアチェンジャーにテープエイリアスを割り当てる

テープドライブやメディアチェンジャーにテープエイリアスを割り当てると、デバイスを簡単に識別できます。エイリアスを割り当てることで、バックアップデバイスの論理名と、テープドライブやメディアチェンジャーに永続的に割り当てられた名前を関連付けることができます。

手順

1. ``storage tape alias set`` コマンドを使用して、テープドライブまたはメディアチェンジャーにエイリアスを割り当てます。

``storage tape alias set``の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/storage-tape-alias-set.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/storage-tape-alias-set.html)["ONTAPコマンド リファレンス"]を参照してください。

``system node hardware tape drive show`` コマンドを使用してテープドライブのシリアル番号 (SN) 情報を表示したり、``system node hardware tape library show`` コマンドを使用してテープライブラリのシリアル番号 (SN) 情報を表示したりできます。

次のコマンドは、ノードcluster1-01に接続されたシリアル番号SN[123456]L4のテープドライブにエイリアス名を設定します：

```
cluster-01::> storage tape alias set -node cluster-01 -name st3  
-mapping SN[123456]L4
```

次のコマンドは、ノードcluster1-01に接続されているシリアル番号SN[65432]のメディアチェンジャーにエイリアス名を設定します：

```
cluster-01::> storage tape alias set -node cluster-01 -name mcl1  
-mapping SN[65432]
```

関連情報

- [テープのエイリアス設定 - 概要](#)
- [テープエイリアスの削除](#)

- ["ストレージ テープ エイリアス セット"](#)

ONTAP テープ バックアップ用のテープ ドライブまたはメディアチェンジャーへのテープ エイリアスを削除します

テープ ドライブまたはメディア チェンジャーで永続的なエイリアスが不要になった場合は、`storage tape alias clear` コマンドを使用してエイリアスを削除できます。

手順

1. `storage tape alias clear` コマンドを使用して、テープ ドライブまたはメディア チェンジャーからエイリアスを削除します。

```
`storage tape alias clear`  
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/storage-tape-alias-clear.html ["ONTAP コマンド リファレンス"] を参照してください。
```

次のコマンドは、エイリアス クリア操作の範囲を `tape` に指定して、すべてのテープ ドライブのエイリアスを削除します：

```
cluster-01::>storage tape alias clear -node cluster-01 -clear-scope tape
```

終了後の操作

NDMPを使用してテープ バックアップまたはリストア処理を実行する場合は、テープ ドライブまたはメディアチェンジャーからエイリアスを削除したあとで、そのテープ ドライブまたはメディア チェンジャーに新しいエイリアス名を割り当て、テープ デバイスに引き続きアクセスできるようにする必要があります。

関連情報

- [テープのエイリアス設定 - 概要](#)
- [テープ エイリアスの割り当て](#)
- ["ストレージ テープ エイリアス クリア"](#)

ONTAP テープ予約を有効または無効にする

```
`tape.reservations` オプションを使用して、ONTAPによるテープ  
デバイスの予約の管理方法を制御できます。デフォルトでは、テープの予約はオフになっています  
。
```

タスク概要

テープ予約オプションを有効にすると、テープ ドライブ、メディア チェンジャー、ブリッジ、またはテープ ライブラリの障害時に、問題が発生する可能性があります。tape コマンドを実行した際に、他のストレージ システムがデバイスを使用していないにもかかわらず、デバイスが予約されているというメッセージが表示される場合には、このオプションを無効にしてください。

手順

1. SCSI予約 / リリース メカニズムまたはSCSI永続的予約機能を使用するか、テープ予約機能を無効にするには、クラスタシェルで次のコマンドを入力します。

```
options -option-name tape.reservations -option-value {scsi | persistent | off}
```

scsi SCSI 予約/解放メカニズムを選択します。

persistent SCSI 永続予約を選択します。

off テープ予約を無効にします。

関連情報

テープ予約機能とは

テープ ライブラリ接続を確認するための ONTAP コマンド

ストレージ システムとそのストレージ システムに接続されているテープ ライブラリ構成との間の接続パスに関する情報を表示できます。この情報は、テープ ライブラリ構成への接続パスを確認する場合や、接続パスに関連する問題のトラブルシューティングを行う場合に使用します。

テープ ライブラリに関する次の詳細情報を表示して、新しいテープ ライブラリを追加 / 作成したあとや、テープ ライブラリへのシングルパス アクセスまたはマルチパス アクセスで障害が発生したパスをリストアしたあとに、テープ ライブラリの接続を確認できます。この情報は、パス関連のエラーのトラブルシューティングを行う場合や、テープ ライブラリへのアクセスが失敗した場合にも使用できます。

- テープ ライブラリの接続先のノード
- デバイスID
- NDMPパス
- テープ ライブラリ名
- ターゲット ポートとイニシエータ ポートのID
- 各ターゲット ポートまたはFCイニシエータ ポートのテープ ライブラリへのシングルパス アクセスまたはマルチパス アクセス
- 「Path Errors」や「Path Qual」などのパス関連のデータ整合性の詳細
- LUNグループとLUN数

状況	使用するコマンド
クラスタ内のテープ ライブラリに関する情報を表示する	system node hardware tape library show
テープ ライブラリのパス情報を表示する	storage tape library path show

状況	使用するコマンド
各イニシエータ ポートのテープ ライブラリのパス情報 を表示する	<code>storage tape library path show-by-initiator</code>
ストレージのテープ ライブラリとクラスタ間の接続 情報を表示する	<code>storage tape library config show</code>

関連情報

- ["ストレージ テープ ライブラリ構成表示"](#)
- ["system node hardware テープ ライブラリ show"](#)
- ["ストレージ テープ ライブラリ パスの表示"](#)
- ["ストレージ テープ ライブラリ パス show-by-initiator"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。